

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	全職員で話し合い、地域密着型サービス意義を頭におき、事業所の理念を作りました。	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	理念は玄関先に掲示しています。理念を共有し実践に向けて、日々努力しています。	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	家族には、入居手続きの際に理念を説明していますが、地域の方々には、なかなか浸透できていないと思います。	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	回覧板を回して交流を図っています。近隣の方との挨拶をかわし、話をしたり、野菜をいただいたり、地区の清掃などに参加したり、ホームの周りの草刈を隣の方がしてくれます。	
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	班に加入しています。地域の祭りや草刈などに参加したり、近所にある寺社に初詣に行ったり、地域の保育園児が、散歩の途中に立ち寄ってくれたりしています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域包括支援センターの方が見学に来られ事業所の説明をして、パンフレットをお渡ししました。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の目的を職員に伝えて、自己評価に取り組んでいます。サービス評価の結果、職員勉強会で報告して、改善点においては話し合い検討しています。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	前回の運営推進会議で、取り上げられた検討事項については、その経過で報告しています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市からの書類提出、介護認定のこと等で、介護保険課に行きます。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	まだ理解不十分で、ほとんどの職員が研修会に参加していないので、必要な時に支援できる体制が整っていません。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所ないにおいては、虐待が見過ごされることのないように、注意を払い、防止に努めていますが、今後勉強会や、ミーティング等で、高齢者虐待防止関連法について、学んでいきたいと思っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約等は管理者が主に行い、利用者及びその家族に説明を行い、医療面、金銭面においては納得を得た上で、同意を得るようにしています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見訴えなどには、耳を傾け、安心して生活して行けるように支援しています。又月1回の職員会議を設け、利用者1人1人の事について話し合いをしています。	定期的に運営推進委員会等を設け地域の方々や利用者の方も交え行っています。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月請求書を送る際に利用者の方々の暮らしぶりなどを書いて、様子を伝えています。又面会時には職員の方から声をかけ、利用者の施設での様子を伝えています。	○ 季節ごとに、入綾だよりを発行して、その月の請求書を送る際に一緒に同封しています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に苦情ボックスを設置しています。	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者自ら職員の声に耳を傾け、月1回の勉強会等では、気軽に意見が言える雰囲気を作っています。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	毎月1回職員会議を行っています。色々な要望に対応が出来るよう利用者、家族等の事で話し合いを行う必要があれば、すぐに話し合いが出来る体制をとっています。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動の際には、引継ぎを十分に行いスムーズに移行できるようにしています。又新しい職員に関しては、利用者様に紹介をしコミュニケーションを多く取ってもらうよう話しています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員が各自の立場、経験年数等も配慮し、進んで研修など参加しています。職員全員がそれぞれ参加しています。	○	研修に行った後は、勉強会などで報告してもらい全職員ご共有出来る様にしています。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	毎月1回他の施設との意見交換を目的とし管理者会議に参加しています		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	職員が休憩できる時間の確保は行っています。		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	職員の資格取得に向けた支援を行っています。	○	資格取得に向けて定期的に勉強会を行っています。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	できるだけコミュニケーションを図るための声掛けを行い、個人の興味のある事や訴えを聞いてあげるようにしています。		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	相談等家族から受けた場合は、ゆっくり話を聞き事業所として、どのような対応が出来るか説明し安心していただく努力をしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人が何を希望しているか、必要とするサービスを見極め対応できるよう努力しています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	場の雰囲気慣れて頂けるよう会話をしてコミュニケーションを計っています。又家族からの電話など、できるだけ出ていただき安心して頂けるよう努めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩として教わる事も多く、又そういう機会を多く作れるよう声掛けして、できるだけ傾聴を心がけています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会の時は家族の話を聞いたりホームでの様子をお伝えするようにしています。又毎月の請求書の時おたよりをつけて、少しでも一緒に支えていくようにしています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	誕生会や他行事の時、家族の方をお添い一緒に楽しんでいただいています。又職員は家族と本人の絆を大切に家族の方がいつも気にかけてる事を伝え安心して頂いています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人との関係が途切れないよういつまでも受け入れられるよう支援しています。	○	利用者様が以前より利用していた店(美容室)と一緒に行き交流を持っています。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士で、多くの会話や関わり合いができるよう、テーブルに座る場所を時々見直したりしています。	○	元気な利用者が食事後のお膳を片付けたりしてくれます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	系列病院に入院された場合は他の利用者様受診時に面会に行くよう努めています。又退所された家族の方には職員より声を掛けるようにしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の今までの生活暦を大切に自宅と変わらなく過ごしていただけるよう支援しています。	○	趣味の編み物をしていただいたり、本人の希望のあるときは買い物、美容室に行けるよう支援しています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話の中や、家族の面会時に聞いたりして把握に努めています。サービス利用の経過記録も参考にして把握に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎朝バイタル測定して、健康状態、心身状態を把握する。本人と会話をしながら接する事で心身状態、有する力等を把握する事に努めています。	○	会話をしながら、新聞たたみ、洗濯物たたみ等、一緒にするように支援しています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員、本人、家族との関係を密にし、情報の交換を行えるよう支援しています。又月1回の勉強会を行い、それぞれの意見を出し合いその人に合った介護計画を作成できるよう努めています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人に変化が生じた場合は職員間で話し合い、現状に即した計画を作成しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践結果等を個別記録に記入し情報を共有し、日々の介護の実践見直しに活かしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じ、柔軟な支援をしたサービスの多機能性に取り組んでいます。	○	病院受診、美容院、買い物等に行きます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域資源を大切にし本人が安全で豊かな暮らしを楽しむ事ができるように支援しています。	○	消防訓練、地域の祭りへの参加、保育園のお遊戯会観覧等に取り組んでいます。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向や必要性に応じ、他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い他のサービスができるよう支援しています。	○	音楽療法に取り組んでいます。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進委員会に地域包括支援センターの方も参加され意見、情報を取り入れています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族等の希望を大切に、家族の協力を得ながら、かかりつけ医の受診を支援しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	定期的に病院受診しています。緊急な時、臨時的な受診も受け入れてもらい個別支援を行っています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師が健康管理や状態の変化に対応しています。看護師がいない時は介護職員の記録をもとに主治医の指示を仰ぎ連絡をとっています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院にもお見舞いし、回復状況に合わせてスムーズに対応しています。利用者様の家族、本人と医療機関と施設が話し合います。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業者が対応し得る最大ケアについては説明は行っています。重度化に伴う同意書は作成しています。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	急変した場合は、すぐに対応していただけるよう医師、看護師とも連携を図り対応しています。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	介護サマリー、ケアプラン、支援状況等を渡して、新しい住まいの支援者に情報提供して、連携をとっています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者様の名前をちゃんづけで呼ばないように気をつけています。中音で穏やかな口調で対応しています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者様が自分の意見を言えるような雰囲気作りをしています。和気あいあいな関係に努めています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様が前夜に睡眠されていない時や、その日その日のペースによって支援し、気分よく過ごしてもらえる様に努めています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行きつけの理容、美容院のある方は家族、又は職員で連れて行くように努めています。	○ 定期的に理容師の方に来てもらって、行きつけのない利用者様は散髪してもらっています。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の方から「このメニューが食べたい」と、言われる時は、なるべく早いうちに希望の品をお出しするように努めています。利用者様の様子を見ながら、楽しく、準備・食事・片付けを一緒にしてくれます。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者様と一緒に買い物に行き、買いたい物を買っていただくように支援しています。たばこについては喫煙される利用者様はいません。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(オムツ使用者)夜間の覚醒時パット確認し交換する。・トイレ誘導の際早めの声掛けし失禁を避ける。・訴え時は、即対応しトイレ誘導を行う。・失禁・失敗しても自尊心を傷付けず速やかに対応する。		・パットの有無を見当。できるだけ布パンツで日中は過ごして頂きたい。・夜間はポータブルトイレ使用している方は日中はトイレでの排泄を促します。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・声掛けし利用者様の意思にて入浴する様支援している。シャワー浴でも十分に温まり浴槽にもゆっくり浸かってもらいます。		ゆず風呂など季節を感じてもらいたい。(たまに入浴済み・・・皮膚の良い方は) ・音楽をかけリラックスしてもらいたい ・無理強いしない。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	朝はできるだけ本人、自ら起床されています。・ホールにて傾眠時は声掛けし自室に休んで頂きます。場合によってはクッション等を使い見守ります。		入浴のない日(又は中止となった場合)はなぜないのかをしっかりと伝えます。 ・いつでも休められる環境をつねに作ります。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	新聞たたみ・洗濯物干し・たたみ等利用者様自ら手伝って頂くよう支援しています。		・職員からの声掛けは必要時以外は避ける。声掛けする時は一緒に作業する。(時には見守り) ・一緒に食事を作ったり、ホットプレートなど利用者の目の前で食事を作りたい。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様方・各自お小遣いを持って頂き、買いたい物を買って頂くよう支援しています。		・職員が財布を預かり各自のお小遣い長に記入しています。 ・買い物会計時、職員が会計してもらうため、利用者につき添い見守りながら利用者に会計の支払いをして頂く。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の出勤が多い日は、出来るだけドライブや買い物に出掛けています。		・家族にも協力して頂いています。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	祭りや行事などの参加を支援しています。		家族にも声掛けして協力して頂いています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも利用者様が家族の方に電話したいと訴えがあったら対応できるよう支援しています。		・家族の理解・協力 ・訴えを聞き、その都度対応しています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者様方のプライバシーを守り、誰もが気軽に訪問されるよう工夫していきます。		・新聞や掲示物の工夫。 ・ゆっくり話ができる場の提供。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていません。		言葉の拘束。「まだそこにいてください」「動いたらダメ」などをいわない。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	事務所や各居室に鍵をかけず利用者様方がいつでも出入りできるようにしています。玄関の鍵も日中はかけず各自、自由に草むしりなどされています。		帰宅願望の強い方がいるのと目の前が国道で危険な為、門の鍵は閉めさせてもらっています。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室の訪室時は必ずノックします。 ・ホール内に姿が見えない時は所在確認して常にどこにいるか把握しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬や調理器具の包丁等は保管しています。		編み物など利用者が各居室で行っている為針など布団や床に落ちていないか確認します。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	1人1人の状態を把握し、定期的に勉強会、訓練をおこなっており事故防止に努めます。		一対一で利用者のペースに合わせて介助する。 ・環境整備・居場所か確認の徹底をします。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年1回の救急救命法の勉強会(実技)を実地しています。緊急マニュアルを作り、見やすい場所に掲示しています。		応急手当てに関して、定期的に訓練を行い、実際の場面でいかせる技術が身につくように心がけていきたいと思っています。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回利用者様とともに避難訓練を行っています。消防署の協力をえて、避難訓練、避難経路の確保、消化器の使い方の訓練を行っています。		地域の方の協力を得て、地域参加の訓練を行いました。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	起こりえるリスクについて、家族等に説明しています。見守りしながら自由に行動してもらっています。		
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝バイタルチェックを行っています。気付いたことがあればDr, 管理者に報告するとともに、職員間で共有し対応しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報、指導文を個人ファイルにとじて、職員が内容を把握できるようにしています。薬変更時には、申し送りノートに記入して確認に努めています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排尿、排便チェック表にて、利用者様の状態を把握しています。リハビリ体操を行い身体を動かしていただいています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	夕食後口腔ケアをしています。休まれる時は、義歯を外し水につけて保管しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事のチェックを行っています。食事中的見守り、声かけを行い、食事の形態を変えて提供しています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	利用者様及び家族に同意を得て、職員ともにインフルエンザの予防接種を受けています。ノロウイルス対策として、ペーパータオルを使用する等予防しています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、フキン、たわし等毎晩漂白しています。天気の良い日は、お茶碗、調理用具は日光消毒しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	ひまわりの種をいただき、プランターに植えて花が咲き利用者様が喜ばれていました。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事の写真を壁に貼り、利用者様の方も、家族の方も見られて喜ばれています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子や、ソファー小さなテーブルを置き、一人で過ごしたり、仲の良い利用者様同士でくつろげるスペースを作っています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた湯のみ、茶碗、箸を持って来てもらい、使ってもらっています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	外気温や利用者の発汗、冷えの様子に注意して、冷暖房を使用しています。	○	ポータブルトイレを使用している利用者の居室は使用後はこまめに片付け、換気し異臭が出ないようにしています。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内の廊下、お風呂場、トイレ、居室等各所に、手すりをつけています。歩行しやすいよう通路にはあまり物を置かない様配慮しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者が出来る事にはこちらから手を出さず、見守っています。また居室の整理等利用者様が行っています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	プランターに花を作っており、利用者と一緒に水やりをしています。又、玄関先に椅子を置き利用者が涼んだり、日向ぼっこをしたりできるようにしています。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある
			②数日に1回程度ある
		○	③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

常に安心、安全を心がけて、支援させていただき、家族の方にもこのホームで「よかった」と安心していただきたいと思います。